

好学尚武

21世紀枠について

埼玉県では、秋季大会でベスト16以上に進出した学校の中から「21世紀枠」が選出される仕組みになっているようです。基本的に、公立高校の中から選出されているようなので、今回、その条件を満たしている学校を抜き出すと、

準優勝・市立川越 ベスト4・上尾 ベスト8・朝霞
ベスト16・・鷲宮・春日部東・県立浦和・市立浦和 の計7校となります。
(県浦和・市浦和以外の5校はこれまでに選出された経験あり)

また、21世紀枠とは

- (1) 少数部員・施設面のハンディ
 - (2) 学業と部活動の両立
 - (3) 近年の成績が良好
 - (4) 創意工夫した練習
 - (5) 校内・地域での活動
- これらを考慮して、選出されるということになっています。

今回、この条件を満たしている7校を見てみると、正直、県立浦和と市立浦和以外の学校は、様々な点で(公立高校の中では)恵まれた環境で活動しているように(私は)感じています。私が現役の頃だったら市高もそちら側だったと思いますが、今は明らかに違います。中・高一貫校になり、より勉強重視になっているのが大きいと思います。

(1) について

中・高一貫校になって10年経ちましたが、基本、高校の敷地に中学校も入る形になっているため、施設は(高校優先にはなっていますが)共有、関連して、選手数も今年3月の卒業生は4名であり(以前と比べると特に)厳しい状況です。(また、女子が多い学校です)

(2) について (一番のアピールポイントでしょう)

少ない部員数ながら、ここ3年で2名の部員が現役で東京大学に合格・進学しています。また、他の部員も約半数が国公立大学に現役で進学しています(詳しくはホームページ内の通信・特別号をご覧ください。現役で、というのも文武両道を示すポイントだと思っています)

(3) について

29年前「さわやか旋風」で全国ベスト4、ただ、それが唯一の甲子園出場です。近年では、今回(平成29年・秋)と(平成27年・夏)県ベスト16進出が良好成績です。

(4) について

月曜8時間授業、土曜も隔週で4時間授業、平日、普段の授業日も下校時間等あるため短時間で集中した練習をしています。また、女子部員がいるため(同じメニューを行っていますが)自然と創意工夫した練習になっていると感じています。

(5) について

基本、土曜日の授業が一般公開のため、その日の朝、校内・校外の清掃活動を行っています。また、市内の少年野球チームと交流をしています。

特徴はあると思いますが、評価していただけるでしょうか・・・